

笑顔も元気も戻ってきました!

ホウオウボクの羽状に広がる葉の隙間から、太陽の光がこぼれます。9月を迎えた宮里公園は、真夏とはどこか違う、柔らかな光に包まれています。

8月31日、ひざ丈以上に雑草が伸びた公園に、刈払機のエンジン音が響きました。上江洲安輝さんと東江信雄さんです。翌日から再開するゲームに備えて、コートをきれいに整えてくれました。入口のマッコウの剪定は大盛英俊さん。いつもながら、皆さんに感謝です。



宮里老人クラブ新聞 みやわし

2026
10月
第35号

会長:前門 政子
題字:喜屋武磯江
編集:山下 博實



グラウンドゴルフに集まった皆さん【宮里公園】

そして9月。宮里公園にみやわし会のゲートボールとグラウンドゴルフが戻ってきました。グラウンドゴルフは、スタートマットから約15メートル先のホールを狙います。8ホールを2回、40分ほどかけて回り、歩く距離は全部で約

350メートル。ボールの行方に一喜一憂しながらも、いい運動になります。

ゲートボールは15メートル×30メートルのコート全面を使い、30分、40分のゲームを2回。チーム対抗ですが、いいプレーが飛び出せば敵「ナイス!」。みんなで称え合う和気あいあいとした雰囲気です。



ゆんたくを楽しむ【宮里公園 東屋】

ゲームの後は東屋に集まって、楽しくゆんたく。グラウンドゴルフでは成績発表もあり、ホールインワンの紹介に拍手が起きます。なんと4回も決めた仲宗根信正さんには、ひときわ大きな拍手が送られていました。

9月は敬老の月。

宮里公園では4名の90代の皆さんも元気にゲームを楽しんでいます。最高齢は92歳の玉城吉達さん。



玉城 吉達さん



ゲートボール: 木かげが豊かです

90代になってからゲームを始められました。

プレーして、笑って、ゆんたくして。

宮里公園のみやわし会、見慣れた元氣な風景です。

役員会だより

役員会開催：9月16日(木) 14:00～15:30

議長：前門政子会長 出席：役員5名

議題

1. 市老連グラウンドゴルフ大会 (10/15) 選手5名の選出
2. 市老連運動会 (10/26) 選手の選出と仮装行列のテーマについて
3. 友愛訪問担当者打合せ (10/8 定例会後)
4. バザー展示会の件 諸事情により開催を見合わせる

10月の予定

定例会：毎週(木)10:00～公民館2階
10/1, 10/8, (10/15), 10/22, 10/29
百歳体操と定例会

役員会：

10/21(木)14:00～ 公民館2階

宮里公園：

毎週 (月)(金)(土)：ゲートボールとゆんたく

毎週 (火)：グラウンドゴルフとゆんたく

市老連関連

10/15 グラウンドゴルフ大会 (信金ドーム) 12:00～

10/21 県老人クラブ大会 (豊見城)

10/26(月) 市老連運動会 (アリーナ)

みやわし会の役員も光ります

毎週木曜日午前10時、宮里公民館ホールで欠かさず開かれるみやわし会定例会。百歳体操のあと、前門政子会長から毎月の役員会からの報告や市老連の行事予定が紹介されます。ゆんたくをひと息楽しんだあとは自然に踊りの輪ができます。比嘉ミヨ子さんが琉球民謡やポップ調



「きよしのズンドコ節」



「かぎやで風」

と玉城吉達さんも加わり、しなやかな舞いを見せていました。お二人とも90代です。

運動会の総踊りの練習、楽しみの仮装行列の準備、そしてレク大会の練習が行われます。調整や連絡、準備など、役員の方々の皆さんの多彩な奮闘が光ります。

音声で繋がる地域の輪

スマホで聞く「みやわし」

AIを使った「みやわし」

訪問でお届けしました。

34号（6月、7月、8月号）を発行して

り、スマホのLINEで

聞くことができます。

音声版を始めるきっかけとなった竹元三郎さんには、第32号を友愛

と山下が訪問しました。

竹さんはいつもの屈託のない笑顔で迎えてくださり、今回は奥様の勝子

さんにもご一緒です。勝子さん手作りのソーミンチャンプルーを美味しくいただきながら、スマホから聞いてもらいました。

「どうですか」と喜屋武さん。竹さんは、「素晴らしい。こういう形で地域の情報が聴けるとは思ってもいなかった。嬉しいのはもちろん、心から感謝していま



インタビューする喜屋武磯江さんと新屋千代子さん

す。」との言葉。その笑顔が何より嬉しく感じられました。勝子さんも隣でニコニコと頷いていました。浜田洋子さんの「6歳の私が見た戦争」の話をきつかけに、同じ時代を生きてきた皆さんの思い出話へ。竹さんからは宮里の懐かしい方々の名前が次々と飛び出し、話は尽きません。気がつけば、なんと2時間半も経っていました。

地域の出来事や同世代の仲間の活躍を、外出が難しい方にも届けたい。音声版が人と人をつなぎ、会話を生み出す一つの架け橋になっていることを、あらためて教えていただいたひとときでした。

音声版「みやわし」はスマホがあれば、ご自分のものでもお子さんお孫さんのものを使っても聴取することが可能です。ご希望される方は山下までご連絡ください。



竹 元三郎さん



竹 勝子さん